

# (仮称) 浅草地区まちづくりビジョン

(素案たたき)



25/3/28(金)時点

※当資料の記載内容や全体デザインは、令和7年3月28日開催の策定委員会での提示内容であり、確定したものではありません。今後、各種検討を経て、引き続き内容を調整していきます。

## ビジョンコンセプトストーリー

Q.

歴史があるまち浅草は、旧いのか。

浅草は歴史があるまちです。

資料をひもとくと、その始まりは飛鳥時代にまでさかのぼると言われ、以来、浅草は浅草寺の門前町として1400年にわたって人々に愛されてきました。

浅草が、歴史があるまちであることは疑いようがない事実ですが、ここでひとつの問いが浮かびます。

それは、歴史があるまち浅草は、旧いのかという問いです。

実は、浅草は旧く見えるようで、常に新しいことを取り入れ、変化してきたまちです。

時代によって変化する、愛されるまちの在り方。  
これからも浅草を、  
まちのみなさまにも、まちを訪れるみなさまにも  
ますます愛されるまちにしていきたい。

本書では、そんな思いを込めて、  
これから20年後を見据えた、まちのビジョンやコンセプトを描きます。

A.

浅草は、常に変化を取り入れてきた  
歴史がある、新しいまち。

浅草のまちづくりビジョン

## 歴史がある、新しいまち浅草

### STORY 20年後から語る浅草のまちものがたり

2047年の浅草は、浅草寺の門前町としての文化資源価値がますます高まり、その独特の文化を求めて国内外から人々が集まるまちになっています。変わらずたくさんの人が集まるまち・浅草は、この20年間の取り組みによって、「まちづくりの理想形」として、たびたび話題に挙がるほどになりました。

### まちに住む人から見た浅草

浅草は、昔と比べるとずいぶん過ごしやすくなりました。かつての浅草は、まちの一部に人が集中していて、浅草寺周辺はまるで混雑時の電車に乗っているようでした。観光客が集まるエリアは避けていましたし、住んでいるまちなのに、人が多すぎて自分たちのまちではないような気持ちになることもしばしば。今では、魅力的な文化拠点が点在するようになり、たくさんの方が訪れている割に混んでいない、過ごしやすいまちになりました。

昔は観光地に住むと大変だねと心配されることもありましたが、そんなことはありません。浅草は楽しい時間を過ごすまちですから、行き交う人もみな笑顔。粋な下町人情を感じるまちの様子を見ていると、なんだかこちらもいい気分になってきます。

ここ20年の取り組みでまちが快適になり、みんなの心にもずいぶん余裕が出てきたように感じます。浅草の文化を際立たせる試みの中で、浅草六区を中心に娯楽施設が増えました。どこでも娯楽にアクセスできる時代と言われて久しいですが、こんなに「本物」を感じる娯楽が楽しめるまちは、浅草を置いてほかにありません。

浅草には多面的な魅力があります。少し歩くとまちの景色がめまぐるしく変わります。観光・産業・商業・芸能そして隅田川の自然…。時間軸という観点でも浅草は多面的。一年を通して地域行事があり、そのたび季節の移ろいを感じさせてくれます。

歴史があるからこそ、ほかのまちには真似できないオリジナリティがあり、その唯一性を求めて「このまちに住みたい」という若者も集まってきています。まちを支える若い世代が集まってきたのも、浅草がまちづくりの理想形として注目される理由のひとつですね。

## まちを訪れる人から見た浅草

浅草はまず、入口からしてすばらしいまちです。隅田川から浅草に向かう小さな船旅は、特別な気分が味わえます。デッキに出て、気持ちいい風と太陽を浴びながら北へ進み、すれ違う船の乗客が見えると、こちらもよりいっそう心が踊ります。この20年で隅田川の水上交通はその価値が見直され、ずいぶん多くの船が行き交うようになりました。

江戸・東京の人々の暮らしに想いを馳せて景色を眺めていると、あっという間に浅草の船着き場に到着します。そこには広い空と豊かな水辺が広がっていて、ここでしばらく時間を過ごしたくなります。この水辺は、まちづくりを研究する世界中の有識者が視察に訪れるほどレベルが高く、これだけ美しい景観を持ちながら、災害対策にもなっているというから驚きです。

また、浅草は多くの人々が日常的に利用する鉄道も特別です。駅には、このまちらしい演出が施され、「いよいよ浅草に来たな」という気持ちにさせてくれます。かつて、使い勝手が悪いと言われた地下空間も、今は見る影もありません。バリアフリーが施され、誘導サインもわかりやすく、各路線の行き来もしやすい。利便性とオリジナリティが見事に融合したまちの入口になっています。

雷門・仲見世通り・浅草寺…。古くから続く門前町には、今日も活気と下町情緒で満ちています。長年浅草で商売をされている方からまちの歴史や見所を教えてもらったりできるのは、まさに浅草ならではの「粋な買い物体験」だと感じます。

まちの中心部を楽しんだ後は、観光情報にアクセスして、周囲のエリアを楽しみます。近くであれば歩いて安全に行けますし、少し離れたエリアでも、さまざまなモビリティがあるので安心です。まちの情報や中心部以外のエリアにアクセスしやすくなったのも、この20年の大きな変化。エリアごとに特色があり、年中地域行事をやっている浅草は、訪れるたびに新しい発見と出会えるまちですね。



<プロローグ>	
ビジョンコンセプトストーリー	1
<b>I (仮称)浅草地区まちづくりビジョンについて</b>	<b>6</b>
ビジョン策定の背景と目的、位置づけ	7
ビジョンの対象エリア	8
ビジョンで大切にしたい視点	9
<b>II 浅草の未来</b>	<b>10</b>
浅草地区2047年頃の姿	11
地区内の回遊・地区外への広がり	12
まちづくりのコンセプト	13
<b>III 実現に向けた戦略</b>	<b>14</b>
まちづくりのコンセプトから導かれる9つの戦略	16
快適性を磨き上げる ー戦略1～3	17
人・まちを結わえる ー戦略4～6	19
文化を際立たせる ー戦略7～9	21
<b>IV 回遊を支えるプロジェクト</b>	<b>24</b>
歩きやすい空間の拡充プロジェクト	25
新たな回遊拠点の創出プロジェクト	26
歴史を紡ぐ東西軸の創出プロジェクト	27
賑わいの拠点の発展プロジェクト	28
整備に向けた進行イメージ	29
<エピローグ>	
※浅草の人にフォーカスした編集後記（調整中）	

# I (仮称) 浅草地区まちづくりビジョンについて

---

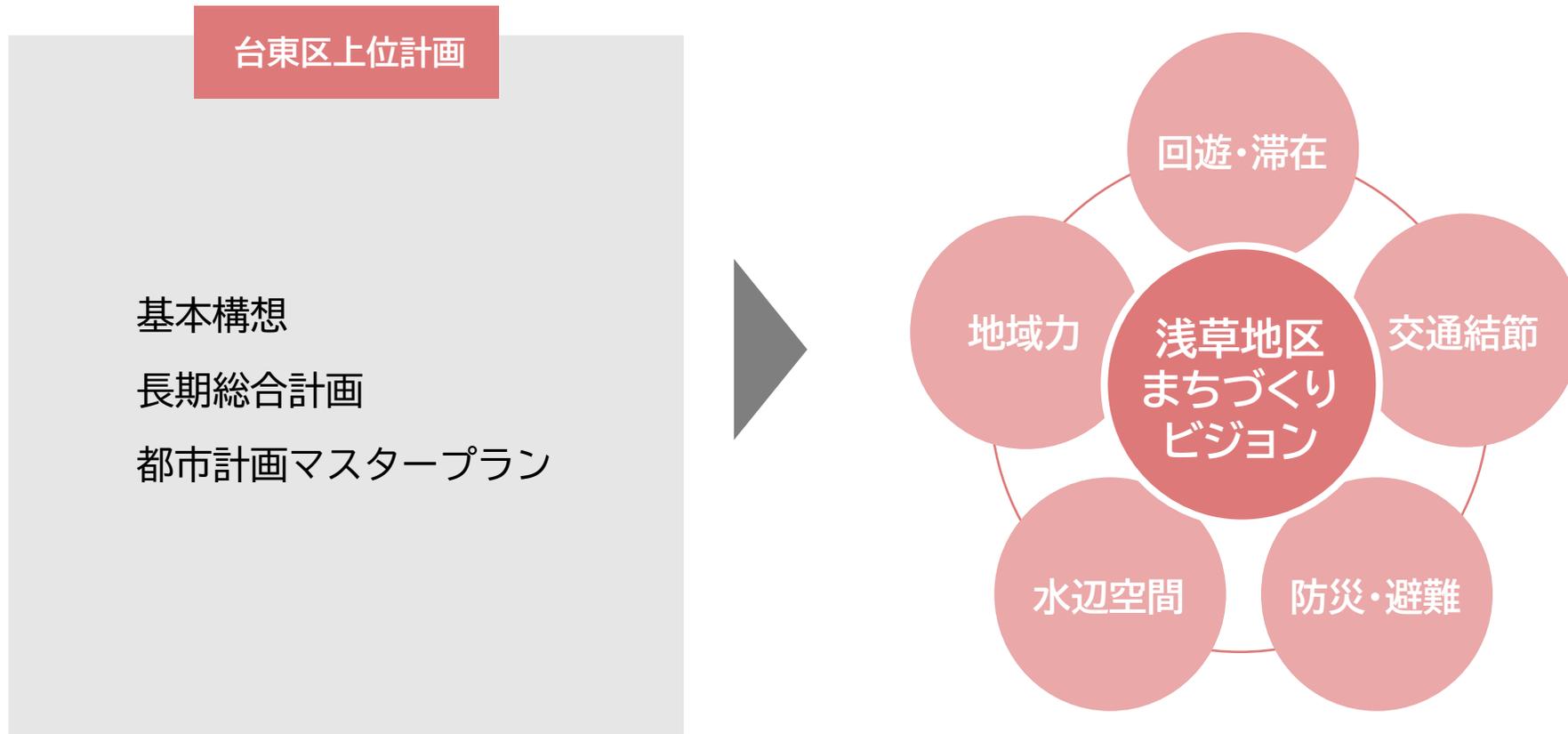
- ビジョン策定の背景と目的、位置づけ
- ビジョンの対象エリア
- ビジョンで大切にしたい視点

## 背景と目的、位置づけ

浅草地区では、平成19年6月に「浅草地域まちづくり総合ビジョン」を策定し、さまざまなプロジェクトを推進してきました。

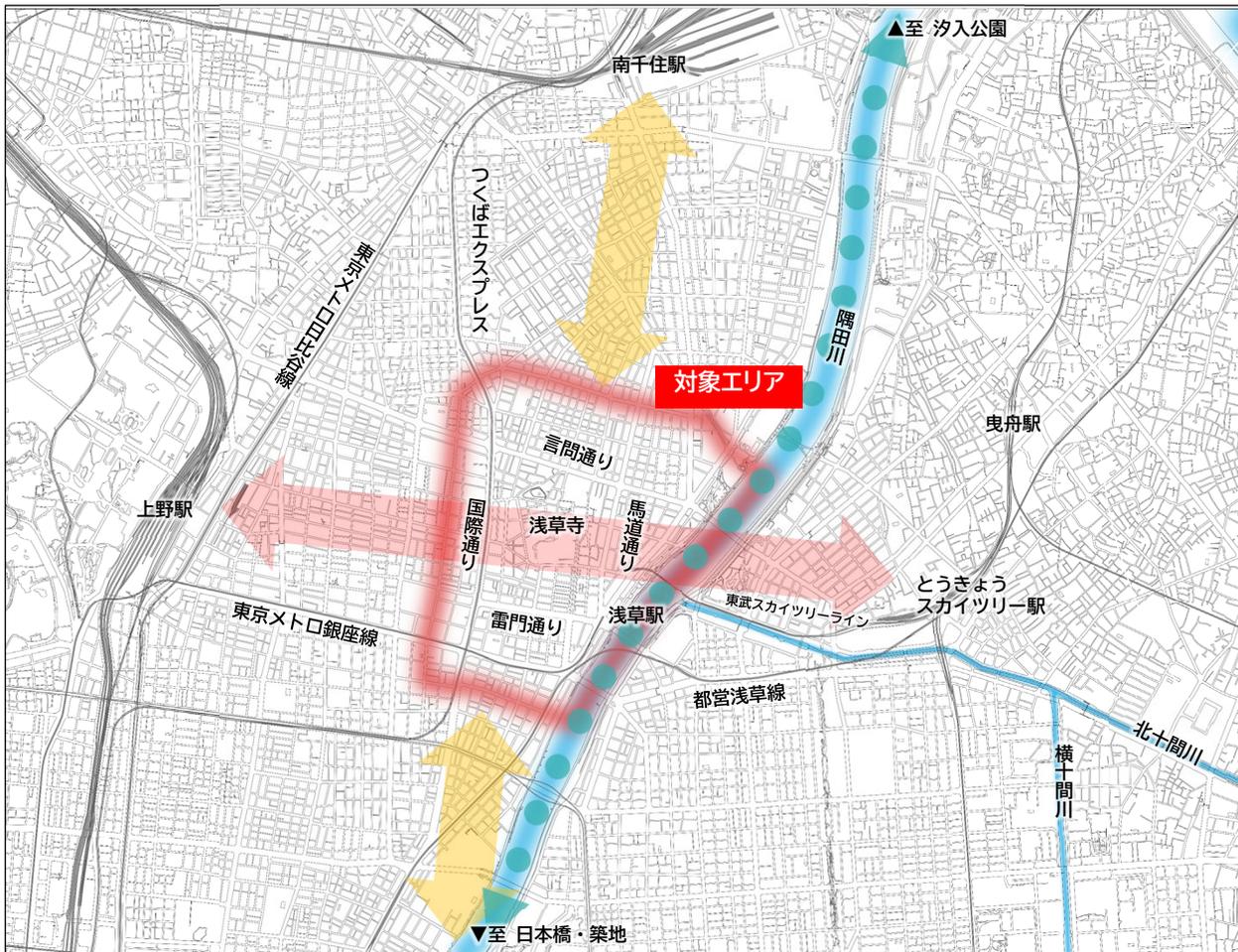
豊かな歴史と文化を有する、日本を代表する観光地として発展していますが、東京スカイツリー開業や外国人を含む観光客の増加、さらにはコロナ禍等により、本地区を取り巻く社会経済状況が大きく変化してきました。

このような状況を踏まえ、今後のまちづくりの方向性を示す「(仮称)浅草地区まちづくりビジョン (以下、「ビジョン」)」を策定し、浅草の多彩な資源を活かした魅力あるまちづくりを進めていきます。ビジョンは、台東区の上位・関連計画との連携も図り、短期・中長期的な「道しるべ」を目指します。

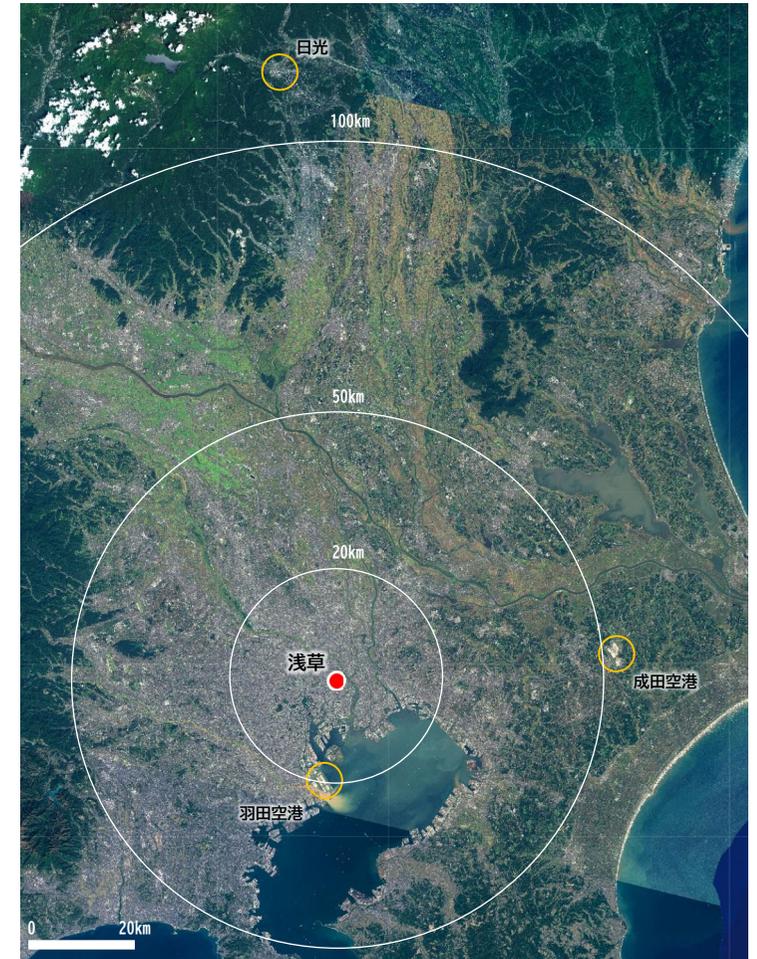


## ビジョンの対象エリア

対象エリアは、浅草地区の中心部とその周辺地域を含めた、概ね下図の赤枠の範囲とします。対象エリアには多様な方面から鉄道が乗り入れており、舟運も活用することで、どこからでも・どこにでも行きやすい、広域的なアクセス性が期待できます。また、羽田空港・成田空港といった国際玄関口からのアクセス性も良く、同じく世界的な観光地である日光にも行きやすい立地にあります。



▲ビジョンの対象エリア



▲浅草地区の広域的な位置関係

(地理院地図/GSI Maps (国土地理院) の航空写真を加工し作成)

## 浅草のまちの成り立ち -地域主体によるまちの発展-

浅草地区は、628年に創建された浅草寺の門前町として、多くの職人や商人が住むまちとして発展しました。江戸期になると、浅草は江戸市街地に吸収され、参詣・行楽・歓楽を目的とした人々が溢れるようになります。また、明治期に入ると、浅草寺の寺領が公園地として整備され、浅草公園第六区が誕生します。見世物小屋の移転により、興行街として発展し、大正時代には映画館や演芸場等の娯楽文化の発信拠点となります。しかしながら、1923年の関東大震災により、現在の浅草地区が位置する浅草区では、72%の家屋が焼失したとされており、その後「帝都復興計画」に基づき土地区画整理事業が実施され、現在とほぼ同じ街路網が形成されました。

昭和初期以降は映画館や劇場が林立し、一大歓楽街として隆盛を誇り、1960年頃までは盛大な活気を見せました。しかし、1964年東京オリンピック後にカラーテレビが普及すると娯楽が多様化し、映画人気が下火になるとともに、浅草六区の勢いも失われていきました。

経済基盤の衰えが会員の生活基盤にも影響し、一部の風紀も悪化していき、馬券売り場ビルが唯一の集客力となる時期もありました。

苦しい衰退期を乗り越えながら、地域が主体となり、サンバカーニバル等による継続的なまちおこしが推進され、ROXやビューホテルの進出、つくばエクスプレスの開通、地区計画による六区興行街の再生等により、外国人観光客をはじめ多くの人々が訪れるまちとなっています。

2020年代に入り、コロナ禍で再び苦しんだ時期もありましたが、外出自粛が落ち着きを見せるとともに、再び多くの人々が訪れ、活気を取り戻しています。

## 浅草地区のまちづくりで大切にしたい視点

浅草地区では、地域が主体となり、活気あるまちを築き上げてきました。戦後の衰退期を乗り越えて、現在もまちに活気があるのは、浅草の人々の「地域を盛り上げたい」という想いの積み重ねによるものと言えます。将来にわたりこの想いを育てていくためにも、ビジョンでは、まちの皆さまとの話し合いを踏まえ、次の視点を大切にしていきたいと思えます。



▲浅草六区の映画街（1932年）  
（出典：『大東京三十五区』、東京都立中央図書館）



▲サンバカーニバル（出典：ビジュアル台東区史）

回遊を生み出す拠点をつくる

賑わいの広がりを生み出す

「住むまち」として価値を高める

## II 浅草の未来

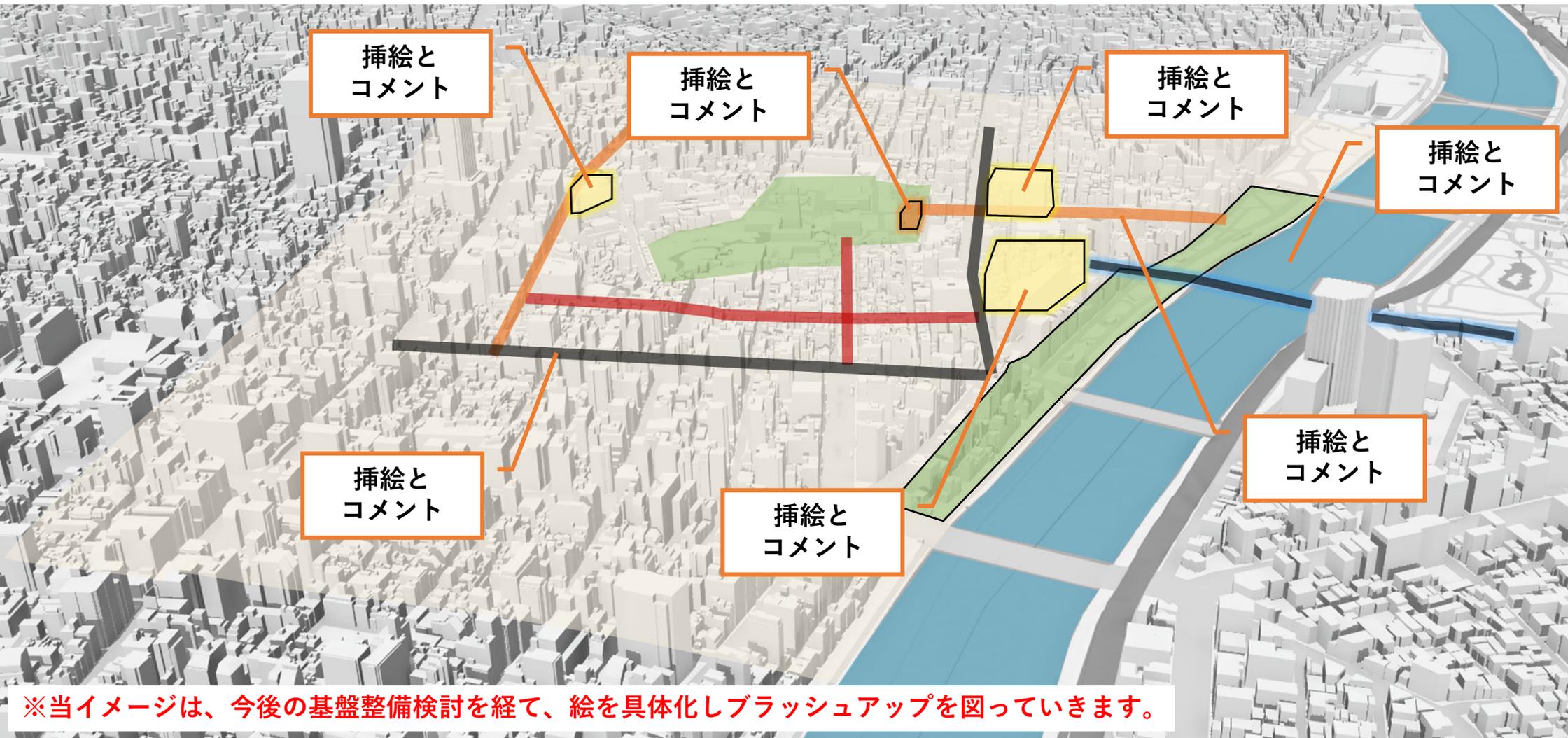
---

- 浅草地区2047年の姿
- 地区内の回遊・地区外への広がり
- まちづくりのコンセプト

浅草地区2047年頃の姿

# 歴史がある、新しいまち浅草

2047年頃の浅草が目指す姿を皆さまと共有するために、浅草地区全体のまちなみのイメージを作成しました。



※当イメージは、今後の基盤整備検討を経て、絵を具体化しブラッシュアップを図っていきます。

## 地区内の回遊

浅草寺の周辺には、まちな見所が点在しています。

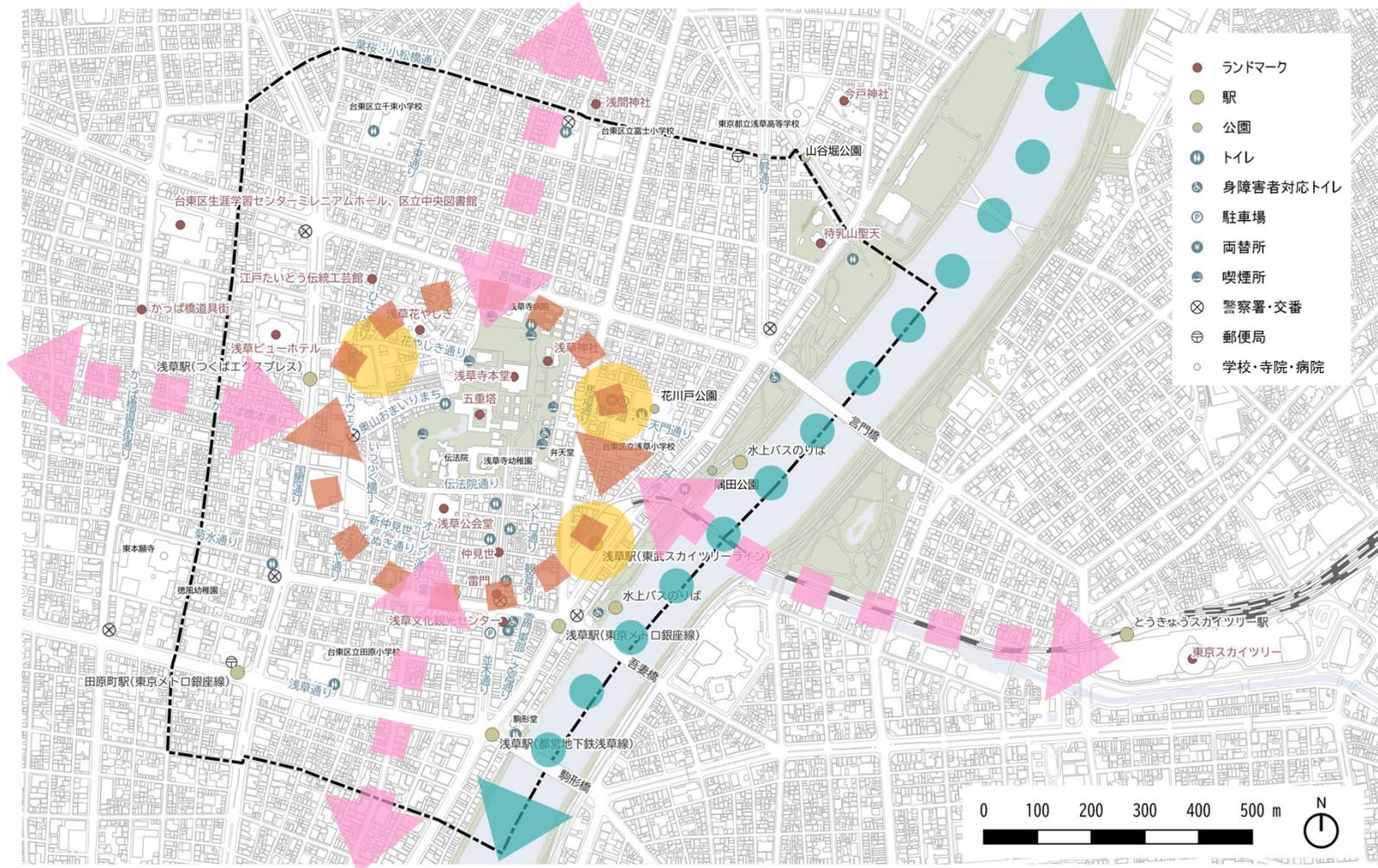
また2047年頃の浅草には、隅田川近くの浅草駅周辺には交通利便性がさらに向上した拠点が、また回遊や滞留を支える拠点が整備されています。

これらがシームレスにつながり、浅草寺の周辺を歩いて楽しく、誰もがゆったりと時間を過ごせる回遊を生み出します。

## 地区外への広がり

スカイツリー方面やかっぱ橋道具街通り方面等へ、さらに人が往来し、広がりのある浅草が形成されています。

また隅田川では、舟運により、築地方面等への広域のつながりが強化されています。



▲地区内の回遊・地区外への広がりイメージ

歴史が紡がれてきた浅草で、新しいまちを実現していくため、浅草の環境、通り・軸、資源・場所を育むことが必要です。  
そのためのまちの皆さんの想いを積み上げ、「まちづくりのコンセプト」を言葉にしました。

<ワークショップ等を踏まえたコンセプトづくりに向けたキーワード抽出>

## 育む要素① 環境

こころが躍る  
くらし・なりわい・ふれあいを生み出す

## 育む要素② 通り・軸

下町の風情があるまちなみや周辺地区との  
繋がりが、人々の往来を促す

## 育む要素③ 資源・場所

浅草寺を中心とした門前町や都市の発展過程の  
歴史・文化資源の価値を高める

資源の魅力を活かす

人々が共存し、互いに居心地の良さや  
交流・活動が生まれるまちをつくる

隅田川や目抜き通りの  
回遊・滞留機能を強化する

観光・商売・娯楽により賑わいを高め、  
巡りたくなる盛り場をつくる

新たな魅力をつくる

## まちづくりのコンセプト

快適性を  
磨き上げる

人・まちを  
結わえる

文化を  
際立たせる

# III 実現に向けた戦略

---

- まちづくりのコンセプトから導かれる9つの戦略
  - | 快適性を磨き上げる —戦略1～3
  - | 人・まちを結わえる —戦略4～6
  - | 文化を際立たせる —戦略7～9
- プロジェクトアイデアのロードマップ



# まちづくりのコンセプトから導かれる9つの戦略

魅力ある空間の質や人の心（ホスピタリティ）を向上させ、快適性を磨き上げること。

地区内の街路や軸を空間的・精神的につなぎ、人・まちを結わえること。

まちのなかに散りばめられた魅力を明確にし、文化を際立たせること。

これら3つのコンセプトに基づいた“9つの戦略”を掲げ、まちづくりの取り組みを推進していきます。

## 快適性を 磨き上げる



## 人・まちを 結わえる



## 文化を 際立たせる



## 戦略

1 暮らしと観光を  
共存させる

- ▶ 街のにぎわいを維持し更に高めていくために、取り組みの担い手が育成され、街の環境を守るためのルールに基づいた建物更新が進んでいます。
- ▶ 「浅草でしかできない体験」を求めてやってくる観光客と、昔から浅草に住む方・新しく住まわれる方が交流する取り組みが、浅草のあちこちで広がっています。
- ▶ 先端技術やデータがさまざまに活用され、観光の快適性や暮らしの利便性の向上につながっています。

## 戦略

2 人とまちを  
安全に

- ▶ 地上や地下に、来訪者の滞留や活動、発災時の避難場所等に資する広々としたオープンスペースが確保されており、移動がしやすい地下空間が形成されています。
- ▶ 建物のセットバックによる空間的な余裕が確保されており、火災や地震等の災害が起きても、住民・観光客を問わず、避難者や帰宅困難者の受け入れ・助け合いが進んで行われています。
- ▶ 災害が起きた際に有益な情報が発信される媒体が機能しており、避難の際には舟運も活用した広域的な避難活動が行われています。また、まちなかにグリーンインフラやクールスポットの導入など、気候変動適応策の取組も進んでいます。

## 戦略

3 まちの移動を  
スムーズに

- ▶ 実証実験を重ねながら、新しいモビリティの導入・活用が進められ、ニーズに沿った移動手段の提供が進んでいます。
- ▶ 浅草のさまざまな観光スポットや見どころが分かりやすく示されている案内機能が整っています。
- ▶ 歩行者の利用が中心となった交通空間の形成と合わせ、自転車利用の促進や自動車・観光バス交通の整序化がなされ、歩いて移動しやすい環境が整っています。

## プロジェクトアイデア (案) (※)

- 生活と観光の共存に向けたルールづくりやマナー啓発
- エリアマネジメント団体の組成やまちづくりを担う人材の育成
- まちなみの維持に必要な建替えのルールづくり
- 住民交流イベントの実施
- 伝統文化・産業との協働による「特別な体験」の提供
- 起業したい人々がチャレンジできる機会の創出
- まちづくりのためのデータ基盤の構築

## プロジェクトアイデア (案) (※)

- 帰宅困難者対策に向けた情報共有会議の開催
- 【再掲】まちなみの維持に必要な建替えのルールづくり
- 多様な来訪者に対応した防災・災害情報の充実
- 気候変動による災害リスクの低減を図る機能の導入
- 滞留空間の整備
- 広々とした地下空間の整備
- 防災機能の確保・充実（備蓄倉庫等）
- 防災船着場の機能強化
- 防災面での舟運の活用

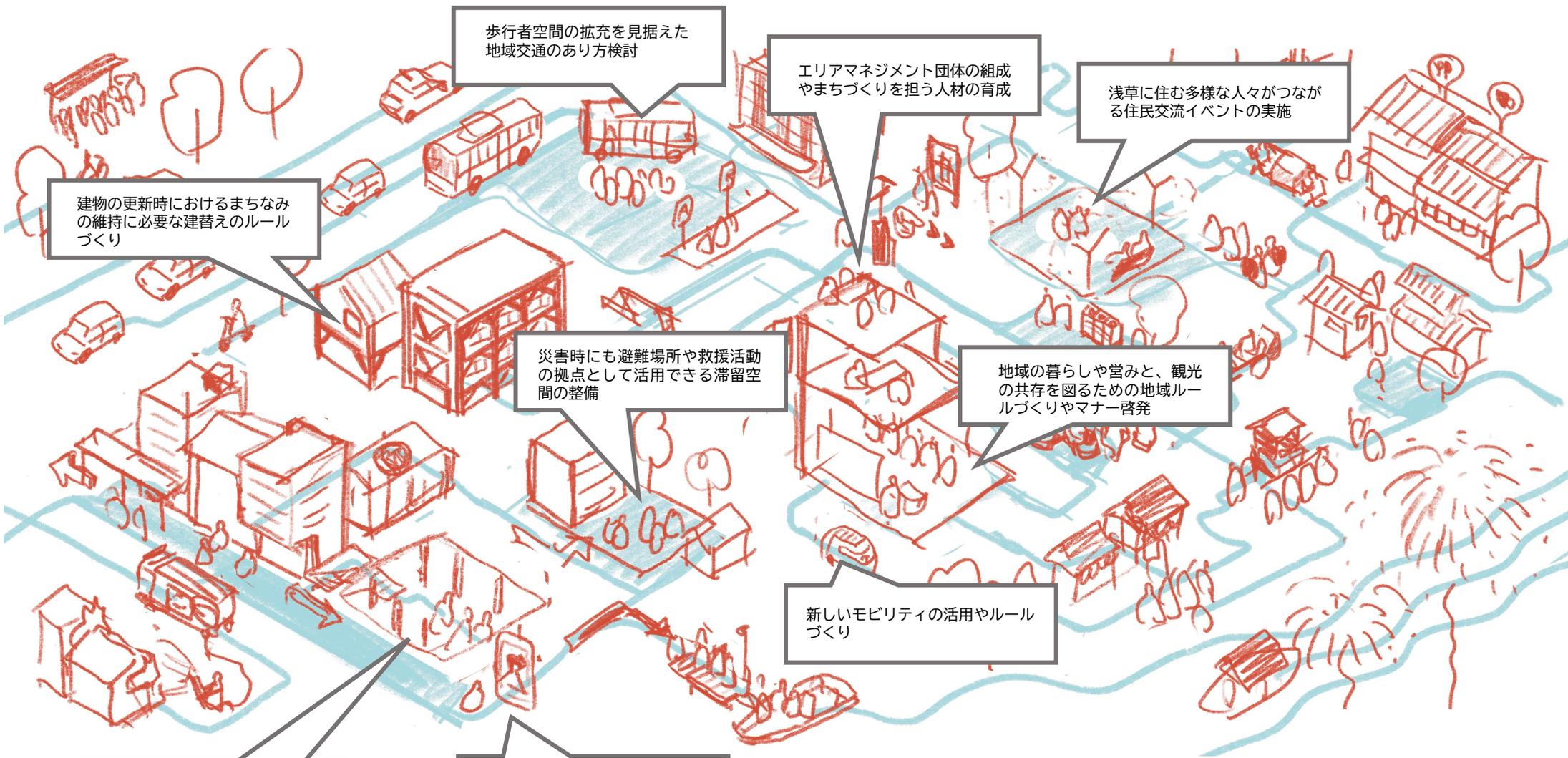
## プロジェクトアイデア (案) (※)

- 地域交通のあり方検討
- 新しいモビリティの活用やルールづくり
- わかりやすい案内の充実
- 自転車利用の促進（通行空間、シェアサイクル）
- 乗合型利用サービスの構築
- 観光バス駐車場や乗降場の確保
- 駐輪場の充実

(※) ビジョンを検討する策定委員会や部会等の意見をもとに、将来像の実現につながるプロジェクトの一例として抽出したものです。内容は関係者と今後精査していくものであり、決定していません。また、着色したメニューは、震災復興100周年（2030年頃）に向けて実現することを想定します。

### 将来像を実現したまちの姿

- 四季の行事や歴史を継承し、浅草で紡がれてきた生き生きとした暮らしや営みが身近にあるまち
- 新たな価値観を柔軟に受け入れ、住む人・訪れる人・働く人が調和して快適に過ごせるまち
- 訪れる人にも優しく、国際観光拠点にふさわしい災害時にも不安感0のまち



歩行者空間の拡充を見据えた  
地域交通のあり方検討

エリアマネジメント団体の組成  
やまちづくりを担う人材の育成

浅草に住む多様な人々がつながる  
住民交流イベントの実施

建物の更新時におけるまちなみの  
維持に必要な建替えのルール  
づくり

災害時にも避難場所や救援活動  
の拠点として活用できる滞留空間  
の整備

地域の暮らしや営みと、観光  
の共存を図るための地域ルール  
づくりやマナー啓発

新しいモビリティの活用やルール  
づくり

歩行者にとって優しく、災害時  
も安全に避難がしやすい広々と  
した地下空間の整備

目的地に迷わず移動できるわか  
りやすい案内の充実

戦略の表現をイメージさせるイラストを掲載予定です。

【作図の方向性（案）】

- プロジェクトアイデア（案）の要素を人物・建物・乗り物等のスケールで表現
- 各要素をつなぐ経路・軌跡・関係性を線（パス）でつなげて表現
- プロジェクトアイデア（案）の場所性は薄めて表現
- イラストの説明を吹き出しで表現（記載内容は今後精査）

戦略

## 4 居心地のよい空間をつくる

- ▶ イベントや社会実験を重ね、空間の使い方を見据えたうえで、浅草のまちなかを快適に歩いて回れるような、歩行者空間や滞留空間の充実に向けた空間整備が進んでいます。
- ▶ 特徴的な街並みを持つ通りでは、景観に配慮した整備が進み、多くの来訪者が快適に歩き回っています。
- ▶ 浅草の個性や雰囲気が残る建物や街並みが維持・保全され、多くの方がその歴史を歩きながら感じています。

戦略

## 5 駅とまちをつなぐ

- ▶ 鉄道駅周辺では、まちづくりと一体となった交通利便性向上に向けた整備が進められ、観光客も地域住民もシームレスに移動ができています。
- ▶ 鉄道駅間やその他交通間でスムーズな乗換空間が整備され、利用者がストレスなく利用できる空間が確保されています。
- ▶ 地下空間が再整備され、歩行者にとって分かりやすく、行きたいところへスムーズに移動できる空間が確保されています。

戦略

## 6 水辺とまちをむすぶ

- ▶ 隅田公園と沿川のまちが一体となったスーパー堤防が整備され、日常時も有事の際も多くの人が集まれる拠点として整っています。
- ▶ まちと水辺のつながりを意識した空間整備が進み、人々の往来が生まれ、多様な主体がイベントや活動で利用しにぎわいが生まれています。
- ▶ 舟運や防災船着場の利用が進み、隅田川の河川環境を感じながら、周辺の主要なウォーターフロントにも便利にアクセスできるようになっています。

### プロジェクトアイデア (案) (※)

- 公共空間でのイベントや社会実験の繰り返し実施
- 屋外広告物や建築物・建物ファサード等の景観ルールづくり
- 浅草の個性や文化を感じさせる建物や街並みの維持・保全
- 主要な通りでの歩行者空間の拡充や滞留空間の充実
- スカイツリーや上野駅等にアクセスしやすいネットワーク（動線）の確保
- 東参道・二天門通り周辺における公共空間・施設の再編
- 浅草3駅（東武・メトロ・都営）を中心とする東の回遊拠点の整備
- 雷門通りや並木通りにおける広場空間の創出
- 雷門地下駐車場の出入口の再編

### プロジェクトアイデア (案) (※)

- 浅草3駅（東武・メトロ、都営）周辺における、新たな都市基盤整備の推進
- 鉄道、バス、タクシー、新たなモビリティ等の交通結節機能の充実
- バスターミナルや交通広場の整備
- 地下空間の再編・ネットワーク整備や滞留空間の整備

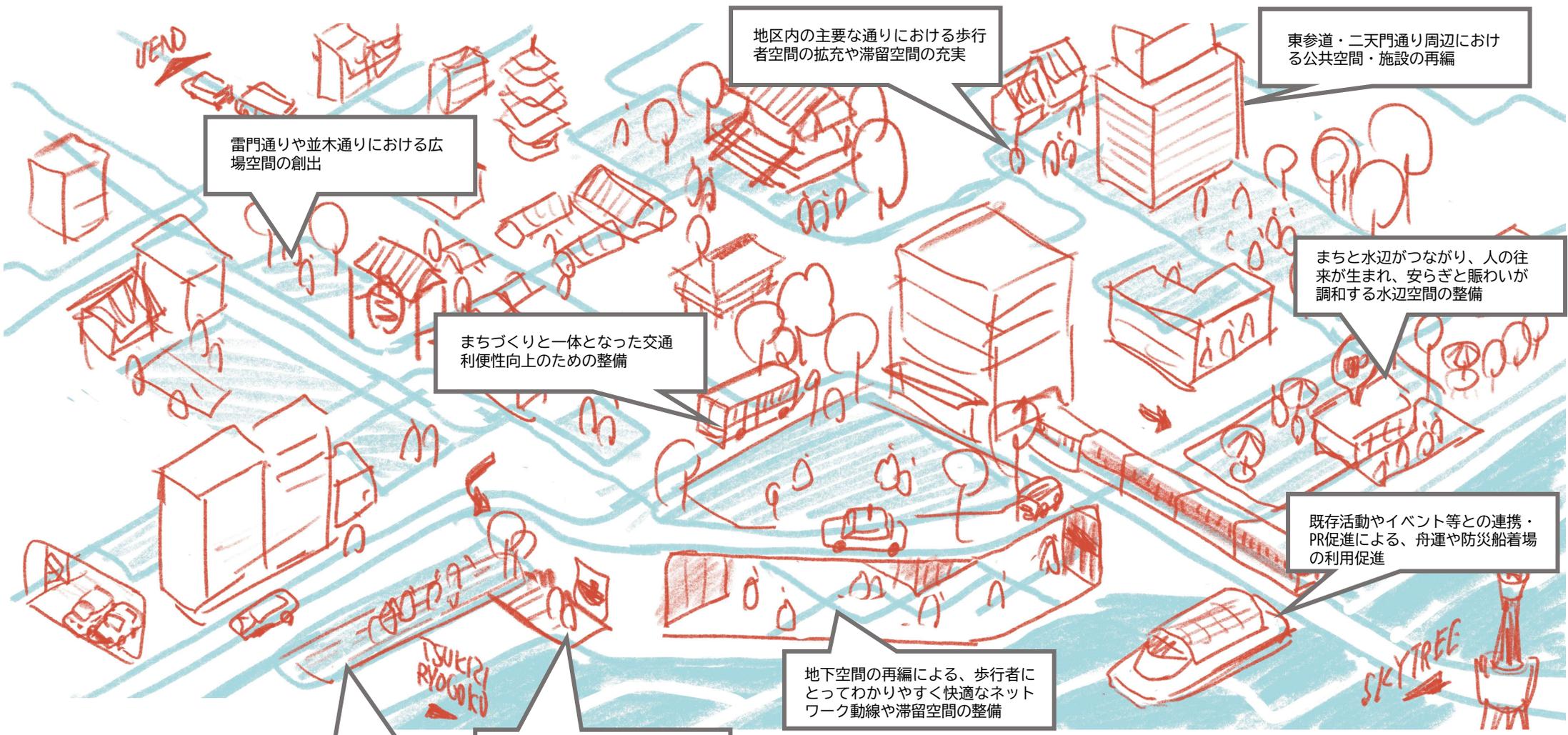
### プロジェクトアイデア (案) (※)

- 多様な主体が水辺空間を利活用できる体制や環境の創出
- 既存活動やイベント等との連携・PR促進
- スーパー堤防整備等に合わせた隅田公園の再整備や川沿い街区の更新
- 水辺空間の高質化
- 水辺にも顔を向けた景観の創出
- 両国や築地等への、舟運での広域的なつながりの強化

(※) ビジョンを検討する策定委員会や部会等の意見をもとに、将来像の実現につながるプロジェクトの一例として抽出したもの。内容は関係者と今後精査していくものであり、決定していません。また、着色したメニューは、震災復興100周年（2030年頃）に向けて実現することを想定します。

### 将来像を実現したまちの姿

- 東西の回遊拠点が整備され、賑わいが地区内外に広がるまち
- 駅とまちが一体的につながり、誰もが分かりやすく使いやすい交通結節点があるまち
- 住む人・訪れる人・働く人がともに楽しめるような、安らぎと賑わいが調和する水辺空間が身近にあるまち



雷門通りや並木通りにおける広場空間の創出

地区内の主要な通りにおける歩行者空間の拡充や滞留空間の充実

東参道・二天門通り周辺における公共空間・施設の再編

まちづくりと一体となった交通利便性向上のための整備

まちと水辺がつながり、人の往来が生まれ、安らぎと賑わいが調和する水辺空間の整備

既存活動やイベント等との連携・PR促進による、舟運や防災船着場の利用促進

地下空間の再編による、歩行者にとってわかりやすく快適なネットワーク動線や滞留空間の整備

スーパー堤防整備等に合わせた、隅田公園や川沿い街区を含む一体的なまちづくりの推進

多様な主体が水辺空間を活用できる体制や環境の創出

戦略の表現をイメージさせるイラストを掲載予定です。

【作図の方向性（案）】

- プロジェクトアイデア（案）の要素を人物・建物・乗り物等のスケールで表現
- 各要素をつなぐ経路・軌跡・関係性を線（パス）でつなげて表現
- プロジェクトアイデア（案）の場所性は薄めて表現
- イラストの説明を吹き出しで表現（記載内容は今後精査）

## 戦略 7 表舞台をつくる

- ▶ 浅草のエンターテインメントや芝居等を文化を伝える人材が輩出され、多くの来訪者にその伝統を伝えています。
- ▶ エンターテインメントや芝居等を体験し楽しめる、浅草ならではの場づくりが進み、多くの方が「浅草ならではの」体験をさまざまな形で楽しんでいます。
- ▶ 浅草らしい景観を有するエリアでは、景観に配慮した整備が進み、多くの来訪者が訪れています。

## 戦略 8 本物を伝える

- ▶ 浅草の歴史・まち・文化を伝えるための情報発信が盛んに行われ、様々な方が浅草の歴史や伝統について学んでいます。
- ▶ 「浅草でしかできない体験」のプロモーションが行われ、来訪者がさまざまな形で希少性の高い体験を楽しんでいます。

## 戦略 9 おもてなしの質を上げる

- ▶ 快適な観光を進めるための休憩施設や案内サービスが整っており、多くの方がそのサービスを利用し楽しんでいます。
- ▶ 快適に過ごすためのトイレ環境が整い、地域と観光の共存に向けたマナー啓発も進んでおり、地域住民も観光客も充実した時間を過ごしています。
- ▶ 混雑緩和の取り組みが進められ、地域住民も観光客も居心地の良さを感じながらそれぞれの時間を過ごしています。

### プロジェクトアイデア (案) (※)

- 文化を継承する人材（芸人・芸者・役者など）の育成
- 観光ルートを活かせる設えや演出の提供
- エンターテインメントに関する「特別な体験」の提供
- 【再掲】屋外広告物や建築物・建物ファサード等の景観ルールづくり
- 【再掲】浅草の個性や文化を感じさせる建物や街並みの維持
- 地域・民間が主体となって担う取り組みへの継続的な支援
- 地域シンボルの再生
- エンターテインメントや芝居等を体験し楽しめる場の充実

### プロジェクトアイデア (案) (※)

- 浅草の歴史・まち・文化への理解を深める活動やイベントの開催
- 若い世代に向けた情報発信や体験の提供
- 江戸たいとう伝統工芸館による伝統的なものづくりに関する情報発信と実演の実施
- 【再掲】エンターテインメントに関する「特別な体験」の提供
- 希少性の高い旅行商品の開発とプロモーションの実施
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートの発信
- サスティナブルツーリズムの推進
- 【再掲】地域・民間が主体となって担う取り組みへの継続的な支援

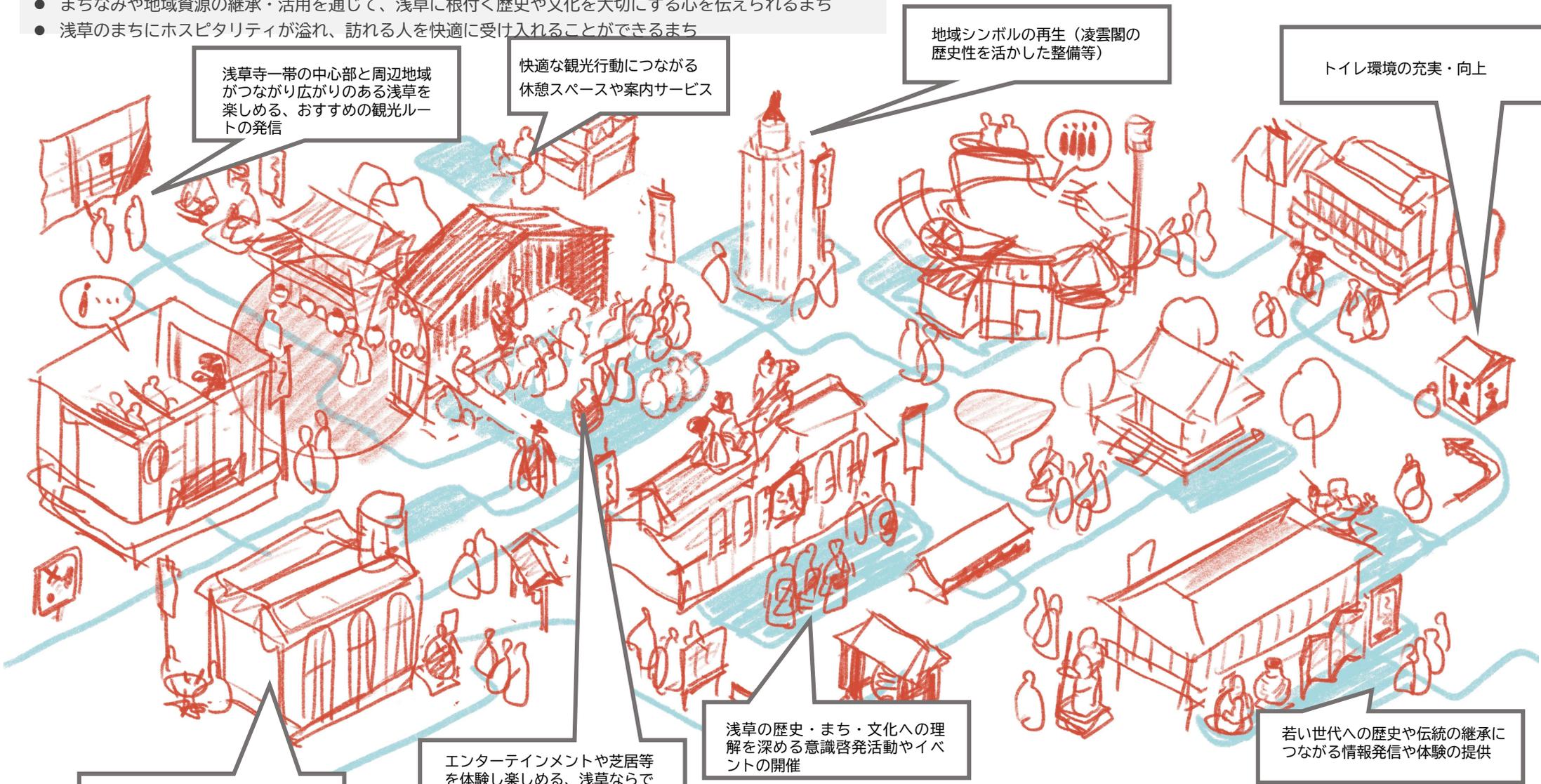
### プロジェクトアイデア (案) (※)

- 休憩スペースや案内サービスの充実
- トイレ環境の充実
- 【再掲】生活と観光の共存に向けたルールづくりやマナー啓発
- 歩行者空間の拡充やオンライン観光案内・混雑情報の発信
- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの促進
- 【再掲】地域・民間が主体となって担う取り組みへの継続的な支援

(※) ビジョンを検討する策定委員会や部会等の意見をもとに、将来像の実現につながるプロジェクトの一例として抽出したもの。内容は関係者と今後精査していくものであり、決定していません。また、着色したメニューは、震災復興100周年（2030年頃）に向けて実現することを想定します。

### 将来像を実現したまちの姿

- 伝統と革新が調和し、国際観光拠点として国内外の多くの人々が魅力を感じる多面的な文化とエンターテインメントがあるまち
- まちなみや地域資源の継承・活用を通じて、浅草に根付く歴史や文化を大切にする心を伝えられるまち
- 浅草のまちにホスピタリティが溢れ、訪れる人を快適に受け入れることができるまち



浅草寺一帯の中心部と周辺地域がつながり広がりある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートが発信

快適な観光行動につながる休憩スペースや案内サービス

地域シンボルの再生（凌雲閣の歴史性を活かした整備等）

トイレ環境の充実・向上

浅草寺周辺など特徴的なエリアでの景観ルールづくりによる、屋外広告物や建築物・建物ファサード等の誘導規制

エンターテインメントや芝居等を体験し楽しめる、浅草ならではの場づくりの促進

浅草の歴史・まち・文化への理解を深める意識啓発活動やイベントの開催

若い世代への歴史や伝統の継承につながる情報発信や体験の提供

戦略の表現をイメージさせるイラストを掲載予定です。

【作図の方向性（案）】

- プロジェクトアイデア（案）の要素を人物・建物・乗り物等のスケールで表現
- 各要素をつなぐ経路・軌跡・関係性を線（パス）でつなげて表現
- プロジェクトアイデア（案）の場所性は薄めて表現
- イラストの説明を吹き出しで表現（記載内容は今後精査）



## IV 回遊を支えるプロジェクト

---

- ・ | 歩きやすい空間の拡充プロジェクト  
| 新たな回遊拠点の創出プロジェクト  
| 歴史を紡ぐ東西軸の創出プロジェクト  
| 賑わいの拠点の発展プロジェクト
- ・ 整備に向けた進行イメージ

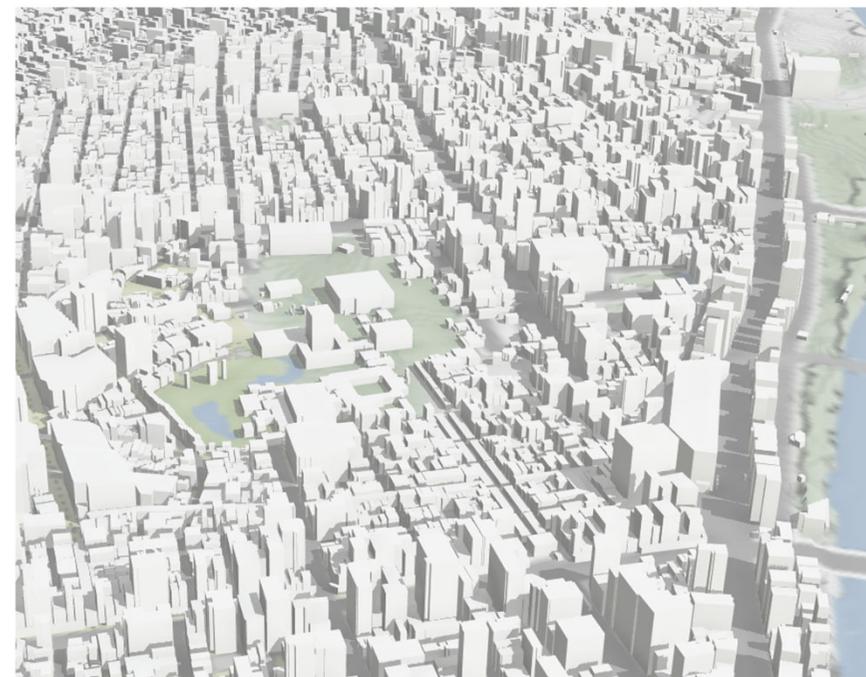
# 歩きやすい空間の拡充プロジェクト（浅草地区全体）

## ありたい姿

- まちの再編にあわせ、歩行者空間の再編・創出が行われ、「歩きやすい空間」がまちのあちこちに広がっています。
- 来訪者でいっぱいだった街なかでは、混雑が解消され、快適な訪問・滞在ができるようになっています。
- 空間の利活用にまつわるイベントや社会実験が重ねられ、さまざまな形で歩いて巡ることの楽しさを感じることができます。

## 整備メニュー

- 雷門通りのウォーカブルな空間への再編
- 馬道通りのウォーカブルな空間への再編
- 東参道・二点門通りの居心地がよく歩きたくなる空間づくり
- 六区・ブロードウェイ周辺でのにぎわいやイベントと共存した歩行者空間の創出
- 主要な通りの沿道における滞留空間の確保
- 地下空間の歩行者ネットワーク整備



基図：PLATEAU VIEW3.0（国土交通省）を加工して作成

## ありたい姿

- まちの再編にあわせ、老朽化した空間・インフラの更新が行われ、「浅草の新たな回遊拠点」として発展しています。
- 鉄道・バスといった公共交通の利用がしやすく、乗り換えの利便性が高い交通環境が整っています。
- 隅田川周辺では、水辺とまちが一体的につながった空間として多くの人がにぎわっています。
- 観光や日常時の憩いだけでなく、災害時にも避難ができるような空間が整っています。

## 整備メニュー

- まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新
- 駅前の滞留空間
- 交通広場・バスターミナルの確保
- 馬道通りのウォークアブルな空間への再編
- 地下空間の歩行者ネットワーク整備
- 自転車駐車場の充実
- スーパー堤防整備
- まちと川をつなぐ人工地盤（デッキ）等の整備
- 防災船着場の機能強化



基図：PLATEAU VIEW3.0（国土交通省）を加工して作成

# 歴史を紡ぐ東西軸の創出プロジェクト (東参道・二天門通り周辺)

未定稿

## ありたい姿

- 住む人や訪れる人が快適に回遊できる動線が整備され、「浅草の歴史を紡いできた二大空間（浅草寺・隅田川）を結ぶ東西軸」として発展しています。
- 浅草寺と隅田川の東西の往来を促進するような動線が確保されています。
- 二天門前や隅田公園近辺では、東西の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間が整っています。
- 沿道の公共空間の再編とあわせ、建物ファサードや屋外広告物の統一感ある景観づくりが進んでいます。

## 整備メニュー

- 東参道・二天門通りの居心地がよく歩きたくなる空間づくり
- 二天門前や隅田公園入口付近における滞留空間の整備
- 台東区民会館や花川戸公園等の公共空間の再編
- 浅草寺境内における、浅草の新たな滞留拠点の整備
- 安全な観光バス乗車場の確保



基図：PLATEAU VIEW3.0（国土交通省）を加工して作成

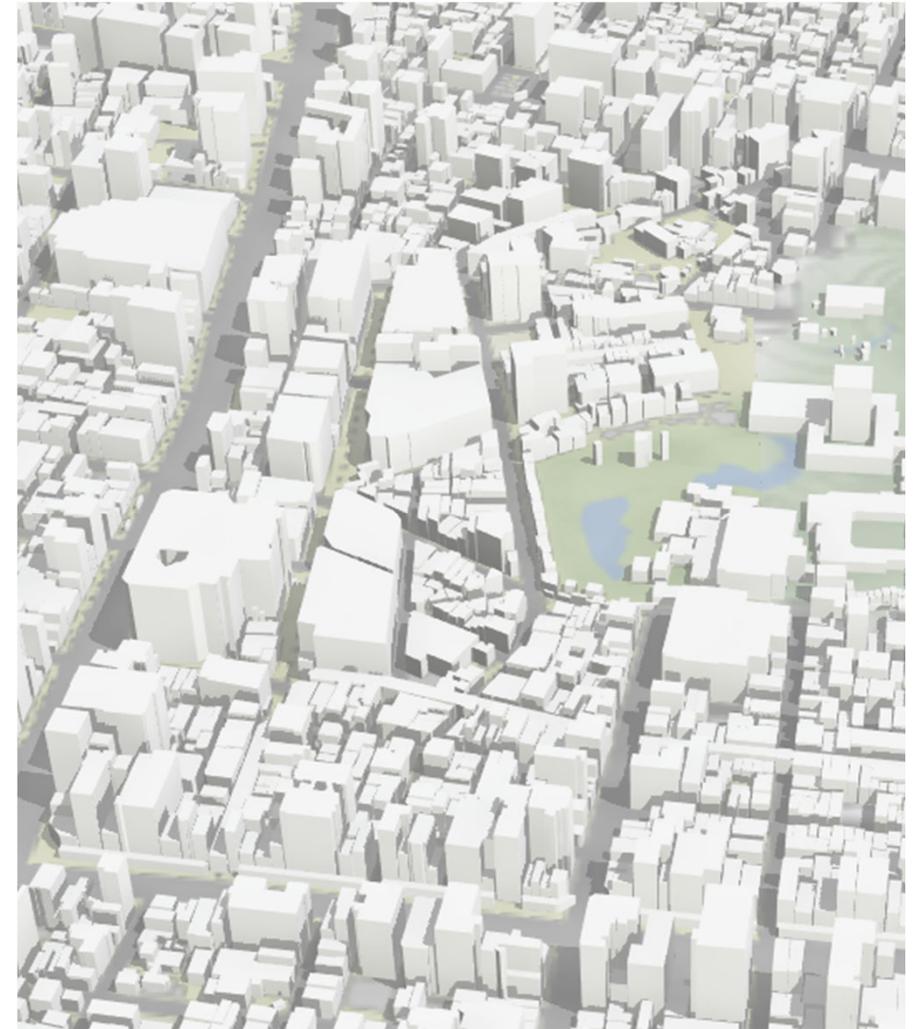
# 賑わいの拠点の発展プロジェクト（六区ブロードウェイ周辺）

## ありたい姿

- 地域による活動が活発に行われている、「賑わいのある西の回遊拠点」として発展しています。
- 興行街やエンターテインメントの中心地として、浅草のにぎわいを支えてきた取り組みが数々展開されています。
- 主要な通りでは快適に通行でき、人々の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間が整っています。
- 地区の西側を代表する観光拠点が生まれ、東側を訪問した人の集客も進んでいます。

## 整備メニュー

- 主要な通り（すしや通り、六区ブロードウェイ、奥山おまいりまちなど）の居心地がよく歩きたくなる空間づくり
- 浅草寺や地区外とつながる通り（ひさご通り・千束通り、かっぱ橋本通りなど）における、人々の往来や誘引性を高める再整備
- 訪れる人がゆったりと滞留できる空間の整備
- 「浅草凌雲閣」の歴史性を活かした新たな滞留空間の創出



基図：PLATEAU VIEW3.0（国土交通省）を加工して作成

# 整備に向けた進行イメージ

未定稿

東武浅草駅開業100周年  
隅田公園開園100周年  
震災復興100周年

浅草寺創建  
1400年

計画見直し

台東区  
100周年

2028頃

2030頃

2038頃

2047頃

## 歩きやすい空間の拡充プロジェクト

主要な通りにおける利活用実験の試行、歩行者空間再編の推進、管理・運営体制と取組みの強化

- ・歩きやすい空間への拡充を図る対象の優先度を検討
- ・主要な通りにおける、空間の利活用実験の継続実施により再整備の方向性を検討
- ・沿道環境と一体となった街路空間として、空間再編を推進
- ・沿道地域との連携強化を図る、エリアマネジメントの取組みの展開

## 新たな回遊拠点の創出プロジェクト

都市基盤整備推進、舟運の取組推進に向けた事業化検討・調整

- ・今後更新が進められるまちと一体的な空間創出を目指しながら、浅草の新たな回遊拠点に相応しい浅草駅やスーパー堤防の整備に向けた事業化を検討し、着手
- ・地下空間の再整備促進に向けた基本構想・特定事業計画を検討し、着手
- ・舟運の更なる利活用促進に向けた、社会実験やイベント等を展開し、観光以外に日常時や有事の際にも利用促進が図られる仕組みが構築

## 歴史を紡ぐ東西軸の創出プロジェクト

東参道・二天門通り沿道地区の管理・運営体制と取組みの強化、空間再編及び浅草の新たな顔の整備

- ・街路空間における、空間の利活用実験の継続実施により再整備の方向性を検討
- ・沿道地域との連携強化を図る、エリアマネジメントの取組みの展開
- ・創建1400年に相応しい、浅草寺の新しい「顔」となる滞留拠点の整備の実施
- ・道路空間再編の推進による、浅草寺・隅田川の二大空間それぞれに向けた、来訪者の誘引を向上

## 賑わいの拠点の発展プロジェクト

地区全体にわたる管理・運営体制及び取組みの強化、区内動線の主要動線における空間再編の推進

- ・現在、六区ブロードウェイを中心に展開されているエリアマネジメントの活動を、地区外との連携により、さらなる効果波及の方向性に向け展開
- ・六区周辺地区の魅力を一層向上させるとともに、かつての日本一の興行街であった履歴を発信
- ・街路空間をはじめとした公共空間において、空間の利活用実験の継続実施により再整備の方向性を検討
- ・すしや通り、六区ブロードウェイ、奥山おまいりまちなど、地区の主要動線において沿道建築物と一体となった街路空間として、空間再編を推進

街なか「歩きやすい空間」という新たなイメージの確立

- ・歩行者空間再編・再整備、管理運営体制の構築など、ハード・ソフト両面からの取組みが完了し、「歩きやすい空間」という新たなイメージを確立
- ・利活用実績を踏まえた課題の改善や、継続的な利用活用促進の方策を引き続き展開

「刷新された浅草の新たな玄関口」の地位の確立、更なる維持向上策の展開

- ・大規模かつ長期的に取り組まれた、都市基盤整備の取組みが完了し、「浅草の新たな回遊拠点」としての地位を確立
- ・この地位向上に向け、さらに浅草らしさが際立ち、魅力ある景観の維持・向上策を検討
- ・利活用実績を踏まえた課題の改善や、継続的な利用活用促進の方策を継続展開

「悠久の歴史を紡いできた二大空間を結わえる東西軸」の地位の確立

- ・管理運営体制の構築、街路空間における空間再編・再整備、沿道建築物のファサード等の誘導規制など、ハード・ソフト両面からの取組みが完了し、「浅草の歴史を紡いできた二大空間を結わえる東西軸」の地位を確立
- ・利活用実績を踏まえた課題の改善や、継続的な利用活用促進の方策を継続展開

「賑わいある西の回遊拠点」の地位の確立、更なる維持向上策の展開

- ・管理運営体制の構築、主要な公共空間や街路空間における空間再編・再整備など、ハード・ソフト両面からの取組みが完了し、「賑わいある西の回遊拠点」としての地位を確立
- ・この地位向上に向け、さらに浅草らしさが際立ち、魅力ある景観の維持・向上策を検討
- ・利活用実績を踏まえた課題の改善や、継続的な利用活用促進の方策を継続展開